

様式第1号（第3条、第5条関係）

地球温暖化対策計画 作成 報告書 （任意）

平成24年 6月 28日

（あて先）  
埼玉県知事

提出者 埼玉県東松山市松本町2-1-1  
伊田テクノス株式会社  
代表取締役 伊田登喜三郎  
〔個人事業者にあつては、住所及び氏名（自署又は記名押印）〕  
電話番号 0493-22-1170



平成 24 年度の地球温暖化対策計画を 作成 したので、埼玉県地球温暖化対策推進条例 第 1 3 条 第 1 項 の規定により、別添のとおり提出します。

業 種 名	総合工事業	番 号	06
燃 料 等 使 用 量 ( 店 舗 面 積 )	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量 54 kL/年 (大規模小売店舗の場合は、店舗面積 m <sup>2</sup> )		
変 更 の 場 合	変 更 年 月 日		
	変 更 の 理 由		
自 動 車 地 球 温 暖 化 対 策 計 画 等 と の 関 係	埼玉県地球温暖化対策推進条例第37条第1項第 号該当		
連 絡 先	所 属 部 署 職 ・ 氏 名 電 話 番 号	別紙のとおり	
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※ 備 考			

- 注 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線で消すことにより特定すること。  
2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。  
3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番



地球温暖化対策実施状況報告書

平成24年 6月 28日

(あて先)  
埼玉県知事

提出者 埼玉県東松山市松本町2-1-1  
伊田テクノス株式会社  
代表取締役 伊田登喜三郎  
〔個人事業者にあつては、住所  
及び氏名（自署又は記名押印）〕  
電話番号 0493-22-1170



平成 23 年度の地球温暖化対策計画に基づく措置の実施の状況について、埼玉県地球温暖化対策推進条例第14条の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	総合工事業	番 号	06
燃料等使用量の 原油換算合計量	54		kℓ/年
温室効果ガス (CO <sub>2</sub> 換算)総排出量	83		t-CO <sub>2</sub> /年
温室効果ガスの排 出の抑制等に関する 措置の実施状況	別紙のとおり		
自動車地球温暖化 対策実施状況 報告書との関係	埼玉県地球温暖化対策推進条例 第37条第2項に該当の有無		有・無 <input checked="" type="radio"/>
連 絡 先	所 属 部 署 職 氏 名 電 話 番 号	別紙のとおり	
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※備 考			

- 注 1 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。  
2 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO<sub>2</sub>換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。  
3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番 24.6.28

温暖化対策課



平成 24 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
IV類	I類 A事業所のみを有する特定事業者
	II類 B事業所を有する特定事業者（III類の事業者を除く）
	III類 C事業所を有する特定事業者
	IV類 任意事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	伊田テクノス株式会社	
所在地	東松山市松本町2-1-1	
事業者番号	4022	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	54	k L/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000㎡以上の事業所)		㎡
産業分類名 (中分類)	総合工事業	
分類番号 (中分類)	06	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	事業内容：土木構造物、建築物及び戸建住宅の地盤 補強の設計・施工 従業員数：154人 資本金：1億円	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
1500kL未満の事業所の合算 (A事業所)		
402200		54
単独で1500kL以上の事業所 (B事業所・C事業所)		
合計		54

(4) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	<a href="http://www.idatechnos.co.jp/">http://www.idatechnos.co.jp/</a>
<input checked="" type="checkbox"/> 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社1階ロビー
	所在地 1	東松山市松本町2-1-1
	閲覧可能時間 1	8:30~17:30 (休業日を除く)
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/> その他		

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 建設本部工務部	0493-22-1172	0493-24-8253	
2			
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

(6) (IV類(任意事業者)のみ記入) 県による公表の可否

県による報告書の公表を希望	する
---------------	----

## 2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

別紙「環境方針」のとおり

## 3 地球温暖化対策における事業者の推進体制

別紙「推進体制」のとおり

## 4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO<sub>2</sub>換算（t-CO<sub>2</sub>）

	22年度 (2010年度)	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	98	83			
その他ガス					
温室効果ガスの合計	98	83			

## 5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

# 環 境 方 針

伊田テクノスは、企業理念であるグループ憲章の中で“快適な環境づくりを通じて豊かな地域社会の発展に貢献”することを誓っています。

私たちは、比企丘陵を中心に緑豊かな埼玉の大地を事業活動の場として、良質な社会資本の形成、快適で豊かな地域社会づくりに取り組んでいます。

しかし、その事業活動の過程では、常に自然環境や生態系と直接的に関わり合っています。

私たちを育ててくれた豊かな自然、オオムラサキの舞う森、ミヤコタナゴの泳ぐ川、ポタンの咲く丘、そんな自然を子孫に受け継ぐこと、安心して安全な暮らしの環境づくりと自然環境・生態系の調和、私たち伊田テクノスは、そんな役割を担っていくことを使命と考え、次の方針を定め、実行します。

1. 環境保全活動の継続的な推進のため、全員参加の環境マネジメントシステムを構築し、運用・維持する。
2. 施工計画段階より環境への影響を配慮し、環境汚染の防止・建設副産物の発生抑制・リサイクル推進等、環境への負荷の低減に努める。
3. 電気エネルギーや化石燃料などの節約によるCO2発生量の抑制に努めると共に、働きやすい職場環境の実現に努める。
4. 各部門毎に、環境目的及び環境目標を設定して、運用・監視及びレビューを行い、継続的な改善に努める。
5. 適用可能な法的要求事項等を順守する。
6. 社員及び取引業者の社員に本環境方針や環境マネジメントシステムの重要性などを教育し、その周知徹底を図る。

2008年 7月 1日

伊田テクノス株式会社

取締役社長 伊田登喜三郎

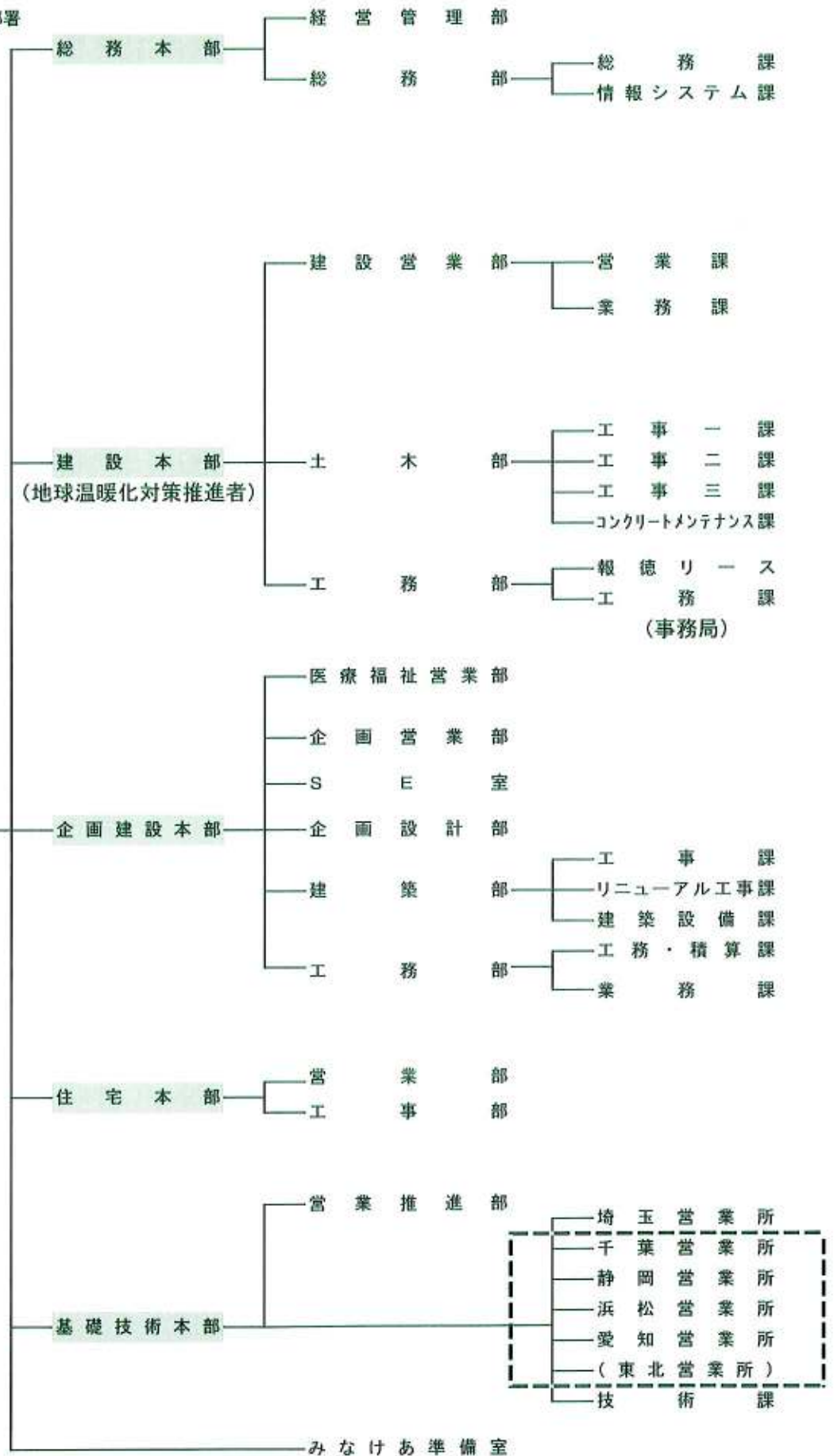
# 推進体制

平成24年6月25日現在

※   報告書に含まれない部署

社長

- ・ 本社  
東松山市松本町2-1-1
- ・ 基礎技術本部 埼玉営業所  
北足立郡伊奈町栄6-91



平成 24 年度

事業者番号	4022	事業所番号	402200
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	伊田テクノス株式会社					前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	東松山市					
	字・地番	松本町2-1-1					
原油換算エネルギー使用量(kL)	年度	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)	
	使用量	66	54				
産業分類名(中分類)	総合工事業						
分類番号(中分類)	06						
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容: 土木構造物、建築物及び戸建住宅の地盤補強の設計・施工 従業員数: 154人 資本金: 1億円					
	延床面積	2009				m <sup>2</sup>	
商標又は商号							

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

計画期間	22	年度	~	26	年度
目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	平成17~19年度の排出量110t-CO <sub>2</sub> を基準として、平成26年度末までに18.2%(20t-CO <sub>2</sub> )削減します。			
	その他ガス				

日本工業規格A列4番





## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	伊田テクノス株式会社	東松山市松本町2-1-1
2	伊田テクノス株式会社 埼玉営業所	北足立郡伊奈町栄6-91
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

			計画期間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	目標		92	91	91	90	90	
	実績	92	98	83				
その他ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	目標						
		実績						
	メタン	目標						
		実績						
	一酸化二酸化炭素	目標						
		実績						
	ハイドロフルオロカーボン	目標						
		実績						
	パーフルオロカーボン	目標						
		実績						
	六ふっ化いおう	目標						
		実績						
温室効果ガスの合計		目標	92	91	91	90	90	
		実績	92	98	83			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

			計画期間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位		目標		0.634	0.628	0.591	0.584	0.584
		実績	0.622	0.679	0.539			
活動規模の指標	<input type="radio"/>	生産量 (単位)	1/年					
	<input type="radio"/>	出荷額 (単位)	百万円/年					
	<input checked="" type="radio"/>	従業員数 (単位)	人	148	145	154	154	154
	<input type="radio"/>	床面積 (単位)	m <sup>2</sup>					
	<input type="radio"/>	( )						

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量  
別紙1-1、1-2号

5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況  
別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移  
別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価  
別紙4号

燃料等使用量の単位換算(紙提出不要)  
 ア 都市ガスの圧力及び標準状態換算

事業所番号	402200
-------	--------

A事業所  
 伊田テクノス株式会社

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
都市ガス	13A:45MJ/m <sup>3</sup>	低圧用	m <sup>3</sup>				
		中間圧以上用	m <sup>3</sup>				
	13A:43.12MJ/m <sup>3</sup>	低圧用	m <sup>3</sup>				
		中間圧以上用	m <sup>3</sup>				
	13A:46.04MJ/m <sup>3</sup>	低圧用	m <sup>3</sup>				
		中間圧以上用	m <sup>3</sup>				
	12A:41.66MJ/m <sup>3</sup>	低圧用	m <sup>3</sup>				
		中間圧以上用	m <sup>3</sup>				
	6A:29.30MJ/m <sup>3</sup>	低圧用	m <sup>3</sup>				
		中間圧以上用	m <sup>3</sup>				

イ 液化石油ガス(LPG)

			使用量(換算前)				
		気化率 m <sup>3</sup> /kg	単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
プロパン・ブタン混合ガス (LPGガス)		0.458	kg				
プロパン		0.502	kg	90			
ブタン		0.355	m <sup>3</sup>				
その他		0.482	m <sup>3</sup>				

ウ 都市ガス・LPG以外の気体燃料

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
その他可燃性 天然ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m <sup>3</sup>					
コークスガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m <sup>3</sup>					
高炉ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m <sup>3</sup>					
転炉ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m <sup>3</sup>					

エ 電気または熱の事業所外への供給

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
事業所外供給	電気	電気供給量	kWh				
		排出係数	t-CO <sub>2</sub> /TWh				
	熱	熱供給量	MJ				
		排出係数	t-CO <sub>2</sub> /GJ				

コージェネレーションシステムの使用(紙提出不要)

事業所番号

402200

A事業所

ア 高効率コージェネレーションシステムの利用

伊田テクノス株式会社

				使用量実績			
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
既存設備	5%<省エネ率<17.5%	A	GJ				
		B	t-CO <sub>2</sub>				
		C	t-CO <sub>2</sub>				
		削減量	t-CO <sub>2</sub>				
	17.5%<省エネ率	A	GJ				
		B	t-CO <sub>2</sub>				
		C	t-CO <sub>2</sub>				
		削減量	t-CO <sub>2</sub>				
新設設備	10%<省エネ率<17.5%	A	GJ				
		B	t-CO <sub>2</sub>				
		C	t-CO <sub>2</sub>				
		削減量	t-CO <sub>2</sub>				
	17.5%<省エネ率	A	GJ				
		B	t-CO <sub>2</sub>				
		C	t-CO <sub>2</sub>				
		削減量	t-CO <sub>2</sub>				

イ コージェネレーションシステムで発電した電気または製造した熱の事業所外への供給

		使用量実績				
		単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
コージェネに供給した都市ガス由来排出量	t-CO <sub>2</sub>					
事業所外供給に関する排出量	t-CO <sub>2</sub>					
コージェネ電気・熱の外部供給による削減量	t-CO <sub>2</sub>					

排出品名	区分	単位	使 量				削減当り削減量	排出係数
			事業所内使用量					
			25年度 2022	26年度 2023	27年度 2024	28年度 2025	29年度 2026	
燃 料	揮発性コンデンサメントを除く)	L					38.2	GJ/kL 0.0187
	揮発性コンデンサメント(NGL)	L					33.3	GJ/kL 0.0184
	揮発性イガフレンシ)	L					74.4	GJ/kL 0.0183
	ナ	L					37.8	GJ/kL 0.0182
	ガ	L					36.7	GJ/kL 0.0181
	軽	L					37.2	GJ/kL 0.0187
	A	L					39.1	GJ/kL 0.0183
	B	L					47.8	GJ/kL 0.0185
	石炭アスファルト	kg					46.9	GJ/kg 0.0208
	石油コークス	kg					25.9	GJ/kg 0.0251
	軽油	L					38.8	GJ/L 0.0181
	重油	L					44.9	GJ/L 0.0182
	液化石油ガス(LPG)	kg					84.6	GJ/kg 0.0135
	天然ガス	kg					15.9	GJ/kg 0.0139
	その他の化石燃料	kg					20.0	GJ/kg 0.0216
	石炭	kg					26.7	GJ/kg 0.0217
	電 気	発電機	kw					28.9
ディーゼルエンジン		kw					29.4	GJ/kw 0.0298
ディーゼルエンジン		kw					27.3	GJ/kw 0.0289
ディーゼルエンジン		kw					21.1	GJ/kw 0.0211
ディーゼルエンジン		kw					3.41	GJ/kw 0.0298
ディーゼルエンジン		kw					8.21	GJ/kw 0.0281
ディーゼルエンジン		kw					45	GJ/kw 0.0298
ディーゼルエンジン		kw					43.12	GJ/kw 0.0298
ディーゼルエンジン		kw					46.94	GJ/kw 0.0298
ディーゼルエンジン		kw					41.88	GJ/kw 0.0298
ディーゼルエンジン		kw					29.30	GJ/kw 0.0298
熱 水		温水	kg					1.82
	温水	kg					1.36	GJ/kg 0.067
	温水	kg					1.36	GJ/kg 0.067
	温水	kg					1.36	GJ/kg 0.067
	温水	kg					1.36	GJ/kg 0.067
	温水	kg					0.67	GJ/kg 0.067
	温水	kg					0.67	GJ/kg 0.067
	温水	kg					0.67	GJ/kg 0.067
	温水	kg					0.67	GJ/kg 0.067
	温水	kg					0.67	GJ/kg 0.067
外 露 機 器	照明器具	W					0.28	GJ/W 0.288
	空調機	W					3.76	GJ/W 0.288
	エレベーター	W						
	冷蔵庫	W						
	洗濯機	W						
	テレビ	W						
	その他	W						
注	その他の注	W						

製品の種類	区分	単位	発行量		排出係数
			2023年度(2023.1.1~2023.12.31)	2022年度(2022.1.1~2022.12.31)	
原料物の処理 及 製品の製造 への使用	焼田(植物性のものを含む) 肥料(のりを含む)	kg			2.92 t-CO <sub>2</sub> /t
	合成繊維	kg			2.29 t-CO <sub>2</sub> /t
	ポリエステル	kg			1.77 t-CO <sub>2</sub> /t
	合成繊維及びポリエステル以外の 繊維(繊維製品に用いる)	kg			2.55 t-CO <sub>2</sub> /t
	その他の繊維(ポリエステル製)	kg			2.69 t-CO <sub>2</sub> /t
	ゴム成形体(ゴム)	kg			1.57 t-CO <sub>2</sub> /t
	ゴム成形体(ゴム)	kg			0.759 t-CO <sub>2</sub> /t
	樹脂(原料物からの及び動植物性のものを除く) から製造される製品	kg			2.63 t-CO <sub>2</sub> /t
	プラスチック製成形品(成形品) から製造される製品	kg			2.62 t-CO <sub>2</sub> /t
	ゴム成形体(ゴム)	kg			1.57 t-CO <sub>2</sub> /t
原料物の製造	セメント	kg			0.51 t-CO <sub>2</sub> /t
	生石灰の製造	kg			0.428 t-CO <sub>2</sub> /t
	ドロマイト	kg			0.449 t-CO <sub>2</sub> /t
	石灰	kg			0.44 t-CO <sub>2</sub> /t
	ドロマイト	kg			0.471 t-CO <sub>2</sub> /t
	ソーダ灰の製造	kg			1 t-CO <sub>2</sub> /t
	ソーダ灰の使用	kg			0.415 t-CO <sub>2</sub> /t
	石灰(一般・輸入)	kg			2.4 t-CO <sub>2</sub> /t
	ナオ	kg			2.3 t-CO <sub>2</sub> /t
	オイル	kg			3.3 t-CO <sub>2</sub> /t
アンモニア の製造	液状天然ガス(LPG)	kg			3 t-CO <sub>2</sub> /t
	液化天然ガス(LNG)	kg			2.7 t-CO <sub>2</sub> /t
	液状天然ガス(LNG)を除く	kg			2.1 t-CO <sub>2</sub> /t
	ロータスガス	kg			0.65 t-CO <sub>2</sub> /t
	石炭製炭化水素ガス	kg			2.3 t-CO <sub>2</sub> /t
	ケリレン	kg			2.3 t-CO <sub>2</sub> /t
	カルシウム カーバイド の製造	kg			0.76 t-CO <sub>2</sub> /t
	エチレン の製造	kg			1.1 t-CO <sub>2</sub> /t
	エチレン の製造	kg			0.28 t-CO <sub>2</sub> /t
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	kg			3.4 t-CO <sub>2</sub> /t
その他の製造	電気炉を使用した粗鋼の製造	kg			0.005 t-CO <sub>2</sub> /t
	ドライアイスとしてのCO <sub>2</sub> 使用量	kg			1 t-CO <sub>2</sub> /t
	製鋼炉の使用によるCO <sub>2</sub> 排出量	kg			1 t-CO <sub>2</sub> /t
					1 t-CO <sub>2</sub> /t
					1 t-CO <sub>2</sub> /t
					1 t-CO <sub>2</sub> /t
					1 t-CO <sub>2</sub> /t
					1 t-CO <sub>2</sub> /t
					1 t-CO <sub>2</sub> /t
					1 t-CO <sub>2</sub> /t
メタン	t-CH <sub>4</sub>			21 t-CO <sub>2</sub> /t-CH <sub>4</sub>	
一酸化炭素	t-CO			310 t-CO <sub>2</sub> /t-CO	
ハイドロフルオロカーボン	t-CF <sub>4</sub>				
パーフルオロカーボン	t-CF <sub>3</sub>				
六ふっ化硫黄	t-SF <sub>6</sub>			25900 t-CO <sub>2</sub> /t-SF <sub>6</sub>	

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱収	原形換算	原形換算使用量	排出係数	二酸化炭素 排出量			
	①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×11/12			
	数値	単位	単位	GJ	M/GJ	kL	単位	t-CO <sub>2</sub>			
燃料	原油(コンデンセートを除く)		M	38.2	GJ/M	0.0258		0.0187	t-CO <sub>2</sub>		
	原油のうちコンデンセート(NGL)		M	35.3	GJ/M			0.0181	t-CO <sub>2</sub>		
	揮発油(ガソリン)		M	31.6	GJ/M			0.0183	t-CO <sub>2</sub>		
	ナフサ		M	33.6	GJ/M			0.0182	t-CO <sub>2</sub>		
	灯油		M	36.7	GJ/M			0.0185	t-CO <sub>2</sub>		
	軽油		M	37.7	GJ/M			0.0187	t-CO <sub>2</sub>		
	A重油		M	39.1	GJ/M			0.0189	t-CO <sub>2</sub>		
	B・C重油		M	41.9	GJ/M			0.0195	t-CO <sub>2</sub>		
	石油ガスフェルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-CO <sub>2</sub>		
	石油コーカス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-CO <sub>2</sub>		
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t		0.0161	t-CO <sub>2</sub>	
		石油系炭化水素ガス		t	41.9		GJ/t		0.0142	t-CO <sub>2</sub>	
	可燃性天然	液化天然ガス(LNG)		t	51.6		GJ/t		0.0135	t-CO <sub>2</sub>	
		その他可燃性天然ガス		t	43.5		GJ/t		0.0139	t-CO <sub>2</sub>	
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t		0.0245	t-CO <sub>2</sub>	
		一般炭		t	25.7		GJ/t		0.0247	t-CO <sub>2</sub>	
		無煙炭		t	26.9		GJ/t		0.0255	t-CO <sub>2</sub>	
	石炭コーカス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-CO <sub>2</sub>		
	コールターール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-CO <sub>2</sub>		
	コーカス炉ガス		t	21.1	GJ/t			0.0110	t-CO <sub>2</sub>		
	高炉ガス		t	3.41	GJ/t			0.0266	t-CO <sub>2</sub>		
	転炉ガス		t	8.41	GJ/t			0.0384	t-CO <sub>2</sub>		
	その他燃料	13A:16MJ/m <sup>3</sup>		t	45		GJ/t		0.0136	t-CO <sub>2</sub>	
13A:12MJ/m <sup>3</sup>		t	43.12	GJ/t		0.0136	t-CO <sub>2</sub>				
13A:16.04MJ/m <sup>3</sup>		t	46.01	GJ/t		0.0136	t-CO <sub>2</sub>				
12A:11.86MJ/m <sup>3</sup>		t	41.86	GJ/t		0.0136	t-CO <sub>2</sub>				
6A:29.30MJ/m <sup>3</sup>		t	29.3	GJ/t		0.0136	t-CO <sub>2</sub>				
小計				GJ				t-CO <sub>2</sub>			
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258		0.009	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	温湯		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	冷湯		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ					0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	小計									t-CO <sub>2</sub> /GJ	
電気	一般電気		tWh	9.97	GJ/tWh	0.0258		0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh		
	昼間(8時~22時)		tWh	9.28	GJ/tWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh		
	夜間(22時~翌8時)		tWh	9.28	GJ/tWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh		
	その他の買電		214	tWh	9.76		GJ/tWh	2,089	54	0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電		tWh							0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh
再生可能エネルギーを自家消費した電		tWh						-0.193	t-CO <sub>2</sub> /tWh		
小計						2,089	54		83		
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	自ら生成した電力の供給		tWh						t-CO <sub>2</sub> /tWh		
	小計										
コージェネレーションシステムの利用											
合計					2,089	0.0258	54		83		

種別	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原形換算	原形換算使用量	算出係数	二酸化炭素 排出量		
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×①	⑥	⑦=①×②×⑥ ×11/12			
	数値	単位	単位	GJ	kJ/GJ	kJ	単位	t-CO <sub>2</sub>		
燃料	原油(コンデンサートを除く)		ML	38.2	GJ/ML			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	原油のうちコンデンサート(NGL)		ML	35.3	GJ/ML			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	揮発油(ガソリン)		ML	31.6	GJ/ML			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	ナフサ		ML	33.6	GJ/ML			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	灯油		ML	36.7	GJ/ML			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	軽油		ML	37.7	GJ/ML			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	A重油		ML	39.1	GJ/ML			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	B・C重油		ML	41.9	GJ/ML			0.020	t-CO <sub>2</sub>	
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.021	t-CO <sub>2</sub>	
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.025	t-CO <sub>2</sub>	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8	GJ/t			0.016	t-CO <sub>2</sub>
		石油系炭化水素ガス		t	41.9	GJ/t			0.014	t-CO <sub>2</sub>
	可燃性天然	液化天然ガス(LNG)		t	51.6	GJ/t			0.014	t-CO <sub>2</sub>
		その他可燃性天然ガス		t	43.5	GJ/t			0.014	t-CO <sub>2</sub>
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t	0.0258		0.025	t-CO <sub>2</sub>
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.025	t-CO <sub>2</sub>
		熱媒炭		t	26.9	GJ/t			0.025	t-CO <sub>2</sub>
	石炭コークス		t	29.1	GJ/t			0.029	t-CO <sub>2</sub>	
	コールターール		t	37.3	GJ/t			0.021	t-CO <sub>2</sub>	
	コークス炉ガス		t	21.1	GJ/t			0.011	t-CO <sub>2</sub>	
	高炉ガス		t	3.41	GJ/t			0.027	t-CO <sub>2</sub>	
転炉ガス		t	8.41	GJ/t			0.038	t-CO <sub>2</sub>		
その他燃料	都市ガス <sup>(注)</sup>	13A:45MJ/m <sup>3</sup>	t	45	GJ/t			0.014	t-CO <sub>2</sub>	
		13A:43.12MJ/m <sup>3</sup>	t	43.12	GJ/t			0.014	t-CO <sub>2</sub>	
		13A:46.04MJ/m <sup>3</sup>	t	46.04	GJ/t			0.014	t-CO <sub>2</sub>	
		12A:41.88MJ/m <sup>3</sup>	t	41.88	GJ/t			0.014	t-CO <sub>2</sub>	
		6A:29.30MJ/m <sup>3</sup>	t	29.3	GJ/t			0.014	t-CO <sub>2</sub>	
小計										
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258		0.060	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ					0.052	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
	小計									
電気	一般電気	昼間(8時~22時)	tWh	9.97	GJ/tWh	0.0258		0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh	
		夜間(22時~翌8時)	tWh	9.28	GJ/tWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh	
	その他の買電		tWh	9.76	GJ/tWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh	
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電		tWh					0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電		tWh					-0.193	t-CO <sub>2</sub> /tWh	
小計										
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						t-CO <sub>2</sub> /GJ	
	自ら生成した電力の供給		tWh						t-CO <sub>2</sub> /tWh	
	小計									
コージェネレーションシステムの利用										
合計					0.0258					



	種別	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原燃換算	原燃換算使用量	排出係数	二酸化炭素 排出量	
		①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×11/12	
		数値	単位	単位	GJ	M/GJ	kL	単位	t-CO <sub>2</sub>	
燃料	原油(コンデンサートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	原油のうちコンデンサート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	揮発油(ガソリン)		kL	31.6	GJ/kL			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.020	t-CO <sub>2</sub>	
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.021	t-CO <sub>2</sub>	
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.025	t-CO <sub>2</sub>	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t		0.016	t-CO <sub>2</sub>
		石油系炭化水素ガス		tNm <sup>3</sup>	41.9		GJ/tNm <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	51.6		GJ/t		0.014	t-CO <sub>2</sub>
		その他可燃性天然ガス		tNm <sup>3</sup>	43.5		GJ/tNm <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t		0.025	t-CO <sub>2</sub>
		一般炭		t	25.7		GJ/t		0.025	t-CO <sub>2</sub>
		無煙炭		t	26.9		GJ/t		0.026	t-CO <sub>2</sub>
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.029	t-CO <sub>2</sub>	
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.021	t-CO <sub>2</sub>	
	コークス炉ガス		tNm <sup>3</sup>	21.1	GJ/tNm <sup>3</sup>			0.011	t-CO <sub>2</sub>	
	高炉ガス		tNm <sup>3</sup>	3.41	GJ/tNm <sup>3</sup>			0.027	t-CO <sub>2</sub>	
	転炉ガス		tNm <sup>3</sup>	8.41	GJ/tNm <sup>3</sup>			0.038	t-CO <sub>2</sub>	
	その他燃料	都市ガス <sup>(注)</sup>	13A:15MJ/m <sup>3</sup>	tNm <sup>3</sup>	45		GJ/tNm <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>
13A:13.12MJ/m <sup>3</sup>			tNm <sup>3</sup>	43.12	GJ/tNm <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>		
13A:16.04MJ/m <sup>3</sup>			tNm <sup>3</sup>	46.04	GJ/tNm <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>		
12A:11.86MJ/m <sup>3</sup>			tNm <sup>3</sup>	41.86	GJ/tNm <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>		
6A:29.30MJ/m <sup>3</sup>			tNm <sup>3</sup>	29.3	GJ/tNm <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>		
				GJ/			t-CO <sub>2</sub>			
				GJ/			t-CO <sub>2</sub>			
小計										
熱		①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×⑥		
	産業用蒸気	GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258		0.050	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	産業用以外の蒸気	GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	温	GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	冷	GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱	GJ					0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
小計										
電気	一般電気	昼間(8時~22時)	tWh	9.97	GJ/tWh	0.0258		0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh	
		夜間(22時~翌8時)	tWh	9.28	GJ/tWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh	
	その他の買電	tWh	9.76	GJ/tWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh		
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電	tWh					0.386	t-CO <sub>2</sub> /tWh		
	再生可能エネルギーを自家消費した電	tWh					-0.193	t-CO <sub>2</sub> /tWh		
小計										
外部供給	自ら生成した熱の供給	GJ						t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	自ら生成した電力の供給	tWh						t-CO <sub>2</sub> /tWh		
	小計									
コージェネレーションシステムの利用										
合計					0.0258					

燃料	種別	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原形換算	原形換算使用量	排炭係数	二酸化炭素 排出量	
		①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×11/12	
		数値	単位	単位	GJ	kJ/GJ	kJ	単位	t-CO <sub>2</sub>	
燃料	原油(コンデンサートを除く)		M	38.2	GJ/M	0.0258		0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	原油のうちコンデンサート(NGL)		M	35.3	GJ/M			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	揮発油(ガソリン)		M	34.6	GJ/M			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	ナフサ		M	33.6	GJ/M			0.018	t-CO <sub>2</sub>	
	灯油		M	36.7	GJ/M			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	軽油		M	37.7	GJ/M			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	A重油		M	39.1	GJ/M			0.019	t-CO <sub>2</sub>	
	B・C重油		M	41.9	GJ/M			0.020	t-CO <sub>2</sub>	
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.021	t-CO <sub>2</sub>	
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.025	t-CO <sub>2</sub>	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t		0.016	t-CO <sub>2</sub>
		石油系液化天然ガス	t/m <sup>3</sup>		44.9		kJ/m <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>
	可燃性天然	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t		0.014	t-CO <sub>2</sub>
		その他可燃性天然ガス	t/m <sup>3</sup>		43.5		kJ/m <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t		0.025	t-CO <sub>2</sub>
		一般炭		t	25.7		GJ/t		0.025	t-CO <sub>2</sub>
		無煙炭		t	26.9		GJ/t		0.026	t-CO <sub>2</sub>
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.029	t-CO <sub>2</sub>	
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.021	t-CO <sub>2</sub>	
	コークス炉ガス	t/m <sup>3</sup>		21.1	kJ/m <sup>3</sup>			0.011	t-CO <sub>2</sub>	
	高炉ガス	t/m <sup>3</sup>		3.41	kJ/m <sup>3</sup>			0.027	t-CO <sub>2</sub>	
	転炉ガス	t/m <sup>3</sup>		8.41	kJ/m <sup>3</sup>			0.038	t-CO <sub>2</sub>	
	その他燃料	都市ガス <sup>(注)</sup>	13A:15MJ/m <sup>3</sup>	t/m <sup>3</sup>	45		kJ/m <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>
13A:43.12MJ/m <sup>3</sup>			t/m <sup>3</sup>	43.12	kJ/m <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>		
13A:46.04MJ/m <sup>3</sup>			t/m <sup>3</sup>	46.04	kJ/m <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>		
12A:41.86MJ/m <sup>3</sup>			t/m <sup>3</sup>	41.86	kJ/m <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>		
6A:29.32MJ/m <sup>3</sup>			t/m <sup>3</sup>	29.3	kJ/m <sup>3</sup>		0.014	t-CO <sub>2</sub>		
				GJ/			t-CO <sub>2</sub>			
				GJ/			t-CO <sub>2</sub>			
小計										
熱		①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×⑥		
	産業用蒸気	GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258		0.050	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	産業用以外の蒸気	GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	温水	GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	冷水	GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した	GJ					0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ		
小計										
電気	一般電気	昼間(8時~22時)	t/kWh	9.97	kJ/tkWh	0.0258		0.386	t-CO <sub>2</sub> /tKWh	
		夜間(22時~翌8時)	t/kWh	9.28	kJ/tkWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /tKWh	
	その他の買電	t/kWh	9.76	kJ/tkWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /tKWh		
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電	t/kWh					0.386	t-CO <sub>2</sub> /tKWh		
	再生可能エネルギーを自家消費した電	t/kWh					-0.193	t-CO <sub>2</sub> /tKWh		
小計										
外部供給	自ら生成した熱の供給	GJ						t-CO <sub>2</sub> /GJ		
	自ら生成した電力の供給	t/kWh						t-CO <sub>2</sub> /tKWh		
	小計									
コージェネレーションシステムの利用										
合計					0.0258					

別紙1-2号 その他ガス排出量

伊田テクノ株式会社

	種別	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO <sub>2</sub>
非エネルギー転換CO <sub>2</sub>	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)	t	2.92 t-CO <sub>2</sub> /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO <sub>2</sub> /t	
		廃ゴムクイヤ	t	1.77 t-CO <sub>2</sub> /t	
		合成繊維及び繊維以外のプラスチック類(産業系廃棄物に限る)	t	2.55 t-CO <sub>2</sub> /t	
		その他のプラスチック類	t	2.69 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料(RPF)	t	1.57 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料(RDF)	t	0.759 t-CO <sub>2</sub> /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO <sub>2</sub> /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油(自ら製造するものを除く)	kL	2.62 t-CO <sub>2</sub> /kL	
		ごみ固形燃料(RPF)	t	1.57 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料(RDF)	t	0.759 t-CO <sub>2</sub> /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO <sub>2</sub> /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ドロマイト	t	0.419 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO <sub>2</sub> /t	
	アンモニアの製造	石灰(一般・輸入)	t	2.4 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ナフ	kL	2.3 t-CO <sub>2</sub> /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO <sub>2</sub> /t	
		液化石油ガス(LPG)	t	3 t-CO <sub>2</sub> /t	
		液化天然ガス(LNG)	t	2.7 t-CO <sub>2</sub> /t	
		天然ガス( LNG を除く)	tNm <sup>3</sup>	2.1 t-CO <sub>2</sub> /tNm <sup>3</sup>	
		コークス炉ガス	tNm <sup>3</sup>	0.85 t-CO <sub>2</sub> /tNm <sup>3</sup>	
	石油系炭化水素ガス	tNm <sup>3</sup>	2.3 t-CO <sub>2</sub> /tNm <sup>3</sup>		
	シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO <sub>2</sub> /t	
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO <sub>2</sub> /t		
	生石灰の消費	t	1.1 t-CO <sub>2</sub> /t		
エチレンの製造		t	0.028 t-CO <sub>2</sub> /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO <sub>2</sub> /t		
電気が使用とした粗鋼の製造		t	0.005 t-CO <sub>2</sub> /t		
ドライアイスとしてのCO <sub>2</sub> 使用量		t	1 t-CO <sub>2</sub> /t		
噴霧器の使用によるCO <sub>2</sub> 排出量		t	1 t-CO <sub>2</sub> /t		
			t-CO <sub>2</sub> /t		
			t-CO <sub>2</sub> /t		
			t-CO <sub>2</sub> /t		
小計					
その他温室効果ガス	メタン		t-CH <sub>4</sub>	21 t-CO <sub>2</sub> /t-CH <sub>4</sub>	
	一酸化二窒素		t-N <sub>2</sub> O	310 t-CO <sub>2</sub> /t-N <sub>2</sub> O	
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO <sub>2</sub> /t	
			t	t-CO <sub>2</sub> /t	
	パーフルオロカーボン		t	t-CO <sub>2</sub> /t	
			t	t-CO <sub>2</sub> /t	
	六ふっ化いおう		t-SF <sub>6</sub>	23000 t-CO <sub>2</sub> /t-SF <sub>6</sub>	
	小計				
合計					

別紙1-2号 その他ガス排出量

伊田テクノ株式会社

	種別	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO <sub>2</sub>
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃棄物（植物性のものを除く）	t	2.92 t-CO <sub>2</sub> /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO <sub>2</sub> /t	
		廃ゴム タイヤ	t	1.77 t-CO <sub>2</sub> /t	
		合成繊維及び炭素繊維以外の炭素繊維類（産業用炭素物に遡る）	t	2.55 t-CO <sub>2</sub> /t	
		その他の炭素繊維類	t	2.69 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO <sub>2</sub> /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	KL	2.63 t-CO <sub>2</sub> /KL	
		炭素繊維類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	KL	2.62 t-CO <sub>2</sub> /KL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO <sub>2</sub> /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO <sub>2</sub> /t	
	生石灰の製造	石灰石	t	0.428 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ドロマイト	t	0.419 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ石灰ガラス又は飲器の製造	石灰石	t	0.41 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO <sub>2</sub> /t	
	アンモニアの製造	石灰（一般・輸入）	t	2.4 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ナフサ	KL	2.3 t-CO <sub>2</sub> /KL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO <sub>2</sub> /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3 t-CO <sub>2</sub> /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO <sub>2</sub> /t	
		天然ガス（LNGを除く）	tNm <sup>3</sup>	2.1 t-CO <sub>2</sub> /tNm <sup>3</sup>	
		コークス炉ガス	tNm <sup>3</sup>	0.85 t-CO <sub>2</sub> /tNm <sup>3</sup>	
	石油系炭化水素ガス	tNm <sup>3</sup>	2.3 t-CO <sub>2</sub> /tNm <sup>3</sup>		
	シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO <sub>2</sub> /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO <sub>2</sub> /t	
		生石灰の還元	t	1.1 t-CO <sub>2</sub> /t	
	エチレンの製造		t	0.028 t-CO <sub>2</sub> /t	
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO <sub>2</sub> /t		
電気炉を使用した鋼の製造		t	0.005 t-CO <sub>2</sub> /t		
ドライアイスとしてのCO <sub>2</sub> 使用量		t	1 t-CO <sub>2</sub> /t		
噴霧器の使用によるCO <sub>2</sub> 排出量		t	1 t-CO <sub>2</sub> /t		
			t-CO <sub>2</sub> /		
			t-CO <sub>2</sub> /		
			t-CO <sub>2</sub> /		
小計					
その他温室効果ガス	メタン		t-CH <sub>4</sub>	21 t-CO <sub>2</sub> /t-CH <sub>4</sub>	
	一酸化二窒素		t-N <sub>2</sub> O	310 t-CO <sub>2</sub> /t-N <sub>2</sub> O	
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO <sub>2</sub> /t-	
			t	t-CO <sub>2</sub> /t-	
	パーフルオロカーボン		t	t-CO <sub>2</sub> /t-	
			t	t-CO <sub>2</sub> /t-	
	六ふっ化いおう		t-SF <sub>6</sub>	23900 t-CO <sub>2</sub> /t-SF <sub>6</sub>	
	小計				
合計					

	種別	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO <sub>2</sub>
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	廃棄物の焼却 及び 製品の製造の 用途への使用	廃油（植物性のものを除く）	t	2.92 t-CO <sub>2</sub> /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO <sub>2</sub> /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO <sub>2</sub> /t	
		合成繊維及び塩化ビニル以外の廃プラスチック類 （産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO <sub>2</sub> /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO <sub>2</sub> /t	
	廃棄物燃料 の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く） から製造される燃料油	kl	2.63 t-CO <sub>2</sub> /kl	
		廃プラスチック類から製造される燃料油 （自ら製造するものを除く）	kl	2.62 t-CO <sub>2</sub> /kl	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO <sub>2</sub> /t	
	セメント製造	t	0.51 t-CO <sub>2</sub> /t		
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ石灰ガラス 又は板硝子の製造	石灰	t	0.41 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ灰の製造	t	1 t-CO <sub>2</sub> /t		
	ソーダ灰の使用	t	0.415 t-CO <sub>2</sub> /t		
	アンモニア の製造	石灰（一般・輸入）	t	2.4 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ナフセ	kl	2.3 t-CO <sub>2</sub> /kl	
		石油コークス	t	3.3 t-CO <sub>2</sub> /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3 t-CO <sub>2</sub> /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO <sub>2</sub> /t	
		天然ガス （液化天然ガス（LNG）を除く）	FNm <sup>3</sup>	2.1 t-CO <sub>2</sub> /FNm <sup>3</sup>	
		コークス炉ガス	FNm <sup>3</sup>	0.85 t-CO <sub>2</sub> /FNm <sup>3</sup>	
	石油系炭化水素ガス	FNm <sup>3</sup>	2.3 t-CO <sub>2</sub> /FNm <sup>3</sup>		
	シリコンカーバイドの製造	t	2.3 t-CO <sub>2</sub> /t		
カルシウム カーバイド の製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO <sub>2</sub> /t		
	生石灰の還元	t	1.1 t-CO <sub>2</sub> /t		
エチレンの製造	t	0.028 t-CO <sub>2</sub> /t			
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	t	3.4 t-CO <sub>2</sub> /t			
電気炉を使用した粗鋼の製造	t	0.005 t-CO <sub>2</sub> /t			
ドライアイスとしてのCO <sub>2</sub> 使用量	t	1 t-CO <sub>2</sub> /t			
噴霧器の使用によるCO <sub>2</sub> 排出量	t	1 t-CO <sub>2</sub> /t			
			t-CO <sub>2</sub> /		
			t-CO <sub>2</sub> /		
			t-CO <sub>2</sub> /		
小計					
その他温室効果ガス	メタン	数値	単位	地球温暖化係数	
	一酸化二窒素	t-CH <sub>4</sub>		21 t-CO <sub>2</sub> /t-CH <sub>4</sub>	
	ハイドロフルオロカーボン	t-N <sub>2</sub> O		310 t-CO <sub>2</sub> /t-N <sub>2</sub> O	
		t		t-CO <sub>2</sub> /t-	
		t		t-CO <sub>2</sub> /t-	
	パーフルオロカーボン	t		t-CO <sub>2</sub> /t-	
		t		t-CO <sub>2</sub> /t-	
六ふっ化いおう	t-SF <sub>6</sub>		23900 t-CO <sub>2</sub> /t-SF <sub>6</sub>		
小計					
合	計				

	種別	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO <sub>2</sub>
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	廃棄物の焼却 及び 製品の製造の 用途への使用	廃棄物（植物性のものを除く）	t	2.92 t-CO <sub>2</sub> /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO <sub>2</sub> /t	
		廃ゴム タ イ ヤ	t	1.77 t-CO <sub>2</sub> /t	
		合成繊維及び廃 <sup>①</sup> スチレン以外の廃プラスチック類 （元来廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO <sub>2</sub> /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO <sub>2</sub> /t	
	廃棄物燃料 の使用	廃棄物（植物性のもの及び動物性のものを除く） から製造される燃料	Mt	2.63 t-CO <sub>2</sub> /Mt	
		廃プラスチック類から製造される燃料及 （自ら製造するものを除く）	Mt	2.62 t-CO <sub>2</sub> /Mt	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO <sub>2</sub> /t	
		セメント製造	t	0.51 t-CO <sub>2</sub> /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ドロマイト	t	0.419 t-CO <sub>2</sub> /t	
	ソーダ石灰ガス 又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.41 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ドロマイト	t	0.421 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ソーダ石灰の製造	t	1 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ソーダ石灰の使用	t	0.415 t-CO <sub>2</sub> /t	
	アンモニア の製造	石灰（一般・輸入）	t	2.4 t-CO <sub>2</sub> /t	
		ナフサ	Mt	2.3 t-CO <sub>2</sub> /Mt	
石油コークス		t	3.3 t-CO <sub>2</sub> /t		
液化石油ガス（LPG）		t	3 t-CO <sub>2</sub> /t		
液化天然ガス（LNG）		t	2.7 t-CO <sub>2</sub> /t		
天然ガス （液化天然ガス（LNG）を除く）		TNm <sup>3</sup>	2.1 t-CO <sub>2</sub> /TNm <sup>3</sup>		
コークス炉ガス		TNm <sup>3</sup>	0.85 t-CO <sub>2</sub> /TNm <sup>3</sup>		
	石油系炭化水素ガス	TNm <sup>3</sup>	2.3 t-CO <sub>2</sub> /TNm <sup>3</sup>		
	シリコンカーバイドの製造	t	2.3 t-CO <sub>2</sub> /t		
カルシウム カーバイド の製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO <sub>2</sub> /t		
	生石灰の還元	t	1.1 t-CO <sub>2</sub> /t		
	エチレンの製造	t	0.028 t-CO <sub>2</sub> /t		
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	t	3.4 t-CO <sub>2</sub> /t		
	電気炉を使用した粗鋼の製造	t	0.005 t-CO <sub>2</sub> /t		
	ドライアイスとしてのCO <sub>2</sub> 使用量	t	1 t-CO <sub>2</sub> /t		
	噴霧器の使用によるCO <sub>2</sub> 排出量	t	1 t-CO <sub>2</sub> /t		
			t-CO <sub>2</sub> /t		
			t-CO <sub>2</sub> /t		
			t-CO <sub>2</sub> /t		
小	計				
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
		メタン	t-CH <sub>4</sub>	21 t-CO <sub>2</sub> -e-CH <sub>4</sub>	
		一酸化二窒素	t-N <sub>2</sub> O	310 t-CO <sub>2</sub> -e-N <sub>2</sub> O	
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO <sub>2</sub> -e	
			t	t-CO <sub>2</sub> -e	
	パーフルオロカーボン		t	t-CO <sub>2</sub> -e	
			t	t-CO <sub>2</sub> -e	
		六フッ化イオウ	t-SF <sub>6</sub>	23900 t-CO <sub>2</sub> -e-SF <sub>6</sub>	
	小	計			
	合	計			

## 別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所  
伊田テクノス株式会社

No	対策の区分			対策内容	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	照明効率の良い照明（Hf）を優先的に利用している	H10年度～	
2	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	定期的に照明を消灯している	H10年度～	
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	業務に支障のない範囲で通路等の蛍光灯を少なくした	H21年度～	
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	人感センサーや自動点滅器による点滅方式を導入している	H10年度～	
5	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	省エネ型自動販売機を導入している	H21年度～	
6	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	自動販売機の照明を常時消している	H14年度～	
7	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	エレベーターの社員利用は極力避け、視示して階段利用を促進している	H14年度～	
8	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	夏季には、建物周囲にグリーンカーテンを設置している	H21年度～	
9	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	一部の照明を蛍光灯からLEDに換えた	H22年度～	
10	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	建物前面の大型窓面に断熱フィルムを設置した	H23年度～	
11						
12						
13						
14						
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

伊田テクノス株式会社  
CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

(1) 温室効果ガス排出量の推移

基準年度	14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
燃料等使用量の原油換算量 (KL)	82	78	86	78	71	71	66	61	66	55			
エネルギー起源 CO2	122	117	129	118	106	106	99	92	98	83			
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>													
メタン													
一酸化二窒素													
ハイドロフルオロカーボン													
パーフルオロカーボン													
六ふっ化いおう													
合計	122	117	129	118	106	106	99	92	98	83			

(2) 温室効果ガス排出量原単位(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

基準年度	14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位	0.6667	0.6802	0.7330	0.6982	0.6272	0.6463	0.6188	0.6216	0.6788	0.5390			
生産量 (単位) t/年													
出荷額 (単位) t/年													
従業員数 (単位) 人	183	172	176	169	169	164	160	148	145	154	154	154	154
床面積 (単位) m <sup>2</sup>													
( )													



(※希望者のみ記載)

A事業所  
伊田テクノス株式会社

## 自由記述欄

## (1) 電気使用量

## ① 空調機器

- ・エアコン設定温度は、冷房28℃以上暖房20℃以下とし、風量は弱とした。
- ・エアコン使用時間を8時15分～20時とした。
- ・夏季・冬季には、クールビズ(ネクタイ・上着なし)・ウォームビズ(重ね着・膝掛け等を用いた)を励行し適温確保を図った。
- ・エコアイス(氷蓄熱式空調システム)を使用し、昼間の冷暖房に役立てた。
- ・壁面緑化を設置した。
- ・西側窓面に断熱フィルムの設置を行った。

## ② 照明

- ・休憩時間などの不要時の消灯を行った。
- ・省エネ型の蛍光灯を使用した。
- ・灯具の清掃、古いランプの交換を行った。
- ・通路部等の蛍光灯を支障のない範囲で少なくした。
- ・一部の照明をLEDにした。

## ③ 各フロアの最終退出者は点検表によりチェックした。

## ④ 自動販売機

- ・照明を常時消した。
- ・省エネタイプを導入した。

## ⑤ OA機器

- ・離席、終業時に電源を切った。

## ⑥ エレベーター

- ・社員利用は極力さけた。
- ・掲示して階段利用を促進した。
- ・エレベーターかご内の照明、ファンは未使用時はOFFとした。

## ⑦ 貼紙をして協力を呼びかけた。

## ⑧ 毎週水曜日をノー残業デーとした。

## ⑩ 午後9時以降の残業は極力なくした。

## (2) ガス使用量(湯沸し器)

## ① 4月1日～10月31日は元栓を締め使用不可とした。

## ② 湯沸し器の能力切替は小とし、湯温設定も2メモリとして、掲示し周知した。

## ③ 各フロアの最終退出者は点検表によりチェックした。